

研究協力をお願い

昭和大学病院では、下記の臨床研究を行います。研究目的や研究方法は以下の通りです。この掲示などによるお知らせの後、臨床情報の研究使用を許可しない旨のご連絡がない場合においては、ご同意をいただいたものとして実施されます。皆様方におかれましては研究の趣旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。

この研究への参加を希望されない場合、また、研究に関するご質問は問い合わせ先へご連絡ください。

1. 課題名	臨床分離細菌の同定、抗菌薬耐性機構解析および分子疫学のための遺伝子解析
2. 研究責任者	昭和大学保健医療学部/昭和大学病院臨床病理診断科 教授 福地 邦彦
3. 研究の概要・計画	<p>細菌感染症の適切な治療、およびその拡大防止のためには、正確な細菌の同定・感受性検査が必須である。従来の細菌学的検査による臨床分離細菌の解析上、以下の問題点が課題として挙げられる。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 生化学性状のみで詳細な菌種同定が困難な場合がある。 2) 抗菌薬耐性菌の検出と解析には、従来の感受性テストのみでは検出不能な場合がある。 3) 院内の水平伝播経路を詳細に解析するためには、菌種と抗菌薬感受性パターンに加え耐性菌のゲノム型を解析し伝播経路を明らかにする必要がある。 4) 感染症の流行状況を解析するためには、分離菌株が地球規模でのクラスターのどこに位置するかを明らかにする必要がある。 <p>上記課題に沿って、以下の解析手法を用いて分離細菌の遺伝学的解析を行う。</p> <p>16S rRNA 領域の塩基配列の決定による種の同定 抗菌薬耐性責任遺伝子の解析：SCCmec 構造、カルバペネム耐性遺伝子、アミノグリコシド耐性遺伝子、キノロン耐性遺伝子 など。 パルスフィールド電気泳動解析によるゲノム型解析。 Multi Locus Sequence Typing によるゲノム型解析。</p> <p>調査対象期間： 2012年1月1日～2022年3月31日 調査対象情報：解析対象の細菌分離が分離された患者の背景 調査項目：昭和大学病院、と昭和大学病院附属東病院において細菌が分離された患者の年齢性別、診療科、入院外来の区別、基礎疾患名、使用抗菌薬、分離菌種、検体の種類、抗菌薬感受性検査の結果。</p>
4. 研究実施期間	保健医療学部倫理委員会承認後～2022年 3月 31日

5. 問い合わせ先

所属： 昭和大学病院 臨床病理診断科 教授 福地邦彦

住所： 東京都品川区旗の台 1-5-8

電話番号： 03-3784-8577

なお、個人情報の保護のため、診療情報はすべて個人を識別できる情報（氏名、住所、生年月日、電話番号など）を削除し独自の記号を付して取り扱い、研究成果を学会や論文で発表する際も個人情報を出すことはありません。